

## 議事録

【会議名称】令和5年度 第3回朝霞地区在宅医療・介護連携推進会議

【日時】令和5年11月27日(月)15:30～17:00

【会場】和光市総合福祉会館3階 第2会議室

【出席者】別紙参照

【議題】

(1)在宅緩和ケアの推進について

(2)意見交換

(3)その他

### 議題(1)在宅緩和ケアの推進について

・在宅緩和ケア検討ワーキンググループメンバーについて紹介(資料③参照)

・TMG あさか医療センター緩和ケアセンター長金井医師より資料に沿って説明。

《質疑応答》

■ぼけっとステーション山口氏

ワーキンググループに参加は可能か

■TMG あさか医療センター 金井医師

かなりの作業量になることをご理解の上で、参加希望の方は支援室までご連絡いただきたい。

■和光市長寿あんしん課 浅井氏

資料① 4. 1)『以下の要件を満たす医療機関・事業所は、「朝霞地区在宅緩和ケアブック(仮)」にリストとして掲載される』とあるが、記載の要件を満たすのは事業所には難しく、実際には医療機関のみがリストに入るのではないかと。

■TMG あさか医療センター 金井医師

ワーキンググループにおいて『「在宅緩和ケアがうまくいっている」というのは、具体的にどのような状態を言うのか』を検討している。その結果から逆算したものを、要件として盛り込めたら良いと思う。

■朝霞市長寿はつらつ課 佐藤氏

医療的措置や数値的な実績だけでなく、本人・家族と情報共有や、終わったあとのケア等も含めて緩和ケアだと思うので、そういったことについても、ケアブック掲載の要件として入れていただくのが良いのではないかと。

■TMG あさか医療センター 金井医師

死別後のケア等を要件にしても良いと思う。

■和光市中央地域包括支援センター 川淵氏

和光市には看護小規模多機能居宅介護事業所があり、癌の看取り等を行っていくことが大事と考えているところ。国としても看多機だけでなく小規模多機能、グループホームでの看取りを推進する中で、今後は『事業所』と連携していくことが想定されるかと思う。

■新座市介護保険課 浦山氏

新座市では ACP 講座の中で緩和ケアの紹介をしている。市民は非常に興味を示すものの金額的なことや家族の負担等わからない点多々あり、そういったところがあることにより、普及していくのではないかと。

■TMG サテライトクリニック朝霞台 浅井医師

ここ10年ほどで、癌に対しある程度先が見えてきたら最期は家でゆっくり過ごしたいという患者が格段に増えた。ACP を啓蒙すれば、今後在宅で最期を迎えたいとの希望はもっと増えると思う。行政には、介護保険が早く認定されるように推し量っていただきたい。

## 議題(2)意見交換

委員より現状の活動・今後の課題等について報告

- ・訪問看護ステーションのネットワーク作りについて、現在30ステーションとの連携ができている
- ・病院間でのネットワーク作りを課題として進めていきたい。
- ・医療機関・訪問・事業所それぞれで働くリハビリ職の横の繋がりを進めていきたい。
- ・MCS でケアマネグループを作ったので、広めていきたい。
- ・朝霞保健所では、在宅療養中の難病患者や小児慢性疾患の医療的ケア児とその家族に対する支援体制を構築すべく、関係機関に向けた研修会等を開催している。
- ・がん哲学外来市民学会による「新座志木がん哲学外来・カフェ」が開催されている。
- ・退院時、病院側の多くの医師・看護師・リハビリ関係者は、在宅は無理だと思っていることが多い。どうすれば家に帰れるのかを伝えながら、一人でも多く在宅復帰ができるよう努めていきたい。

## 議題(3)その他

■12/11(月)ACP 普及啓発シンポジウム開催。

4市の ACP 普及啓発ワーキンググループが会し活動発表・情報共有を行い、来年度からの普及啓発に繋げたい。

■1/24(水) 急変時の対応についてのシンポジウム開催。各現場の現状と課題を提示してもらい、来年度に繋げていきたい

《シンポジスト》

埼玉病院救急救命センター長 富永 善照医師

埼玉県南西部消防局救急担当

居宅介護支援事業所山吹 本多 真人氏

\*\*\*\*\* 次回開催 \*\*\*\*\*

【日 時】令和6年2月5日(月)15:30～

【場 所】和光市総合福祉会館3階 会議室2